



浅井 葉子 議員

食育への考え方と 学校の取り組みは

問 食育に関連して、次の事項を尋ねる。

- (1) 成人病予防の考え方。
- (2) 学校での取り組み。
- (3) 弥富北中学校で行われる食育推進事業を今後、他校で進める考えはあるか。
- (4) 食物アレルギー体質の子どもへの対応。

食育は全年齢型の対応を

答 市長

- (1) 生活習慣病予防の一つとして食育は大きな要素があり、子どもだけでなくフルエイジ（全年齢）型の対応をしていかねばならない。
- 答** 教育課長
- (2) 家庭科や特別活動等で、栄養士も授業に入り学校全

体で指導。毎月の給食だより、給食試食会等、家庭での食育推進を促している。

- (3) まず19年度については同校で実施する。
- (4) 所見の入所時にアレルギーの有無を聞き、除去食を提供している。

申し出のある児童・生徒の保護者に、アレルギー物質の有無が分かる資料を提示し、内容によっては、除去、代替品を使用して給食を提供する場合もある。

外国籍住民の 就学状況は

問

外国籍住民への対応について聞く。

- (1) 現在何人が。16歳未満の人数は。

- (2) 就学状況は。
- (3) 甚目寺町のような日本語教室を計画する考えは。
- (4) 江南市の外国人生活支援員設置業務と同様の取り組みを考えているか。

67人のうち、 33%が就学

答 市民課長

- (1) 6月現在で1,384人、16歳未満は143人である。

答 教育課長

- (2) 4月時点の該当者67人のうち、33%が市内の小・中学校に通学し、それ以外は四日市市等のブラジル人学校に通っていると思われる。

就学対象者には就学前の健診案内、入学式前に就学通知を送付し就学を勧めている。今後は日本人同様に就学指導をしていかなければいけないと思う。

答 企画情報課長

- (3) 企業等と連携を図りながら対応を考えていきたい。

総合案内窓口を 設置しては

問

- (1) 役所に総合案内窓口を開設する考えはないか。
- (2) 市民ホールへの階段で、手すりのない箇所は改善するのか。

市民に役立つ所が 市役所である

答 市長

- (1) 市民のために役に立つ所が市役所であるので、そういった方向の中で検討していきたいと思う。

答 管財課長

- (2) 一度に大勢の人が利用する。少しでも広く使いたため設置を考えていない。